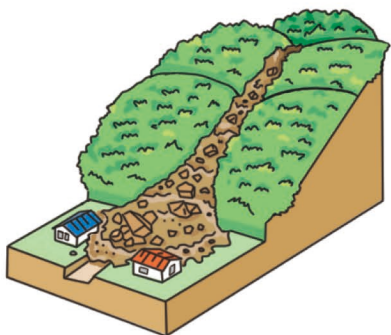


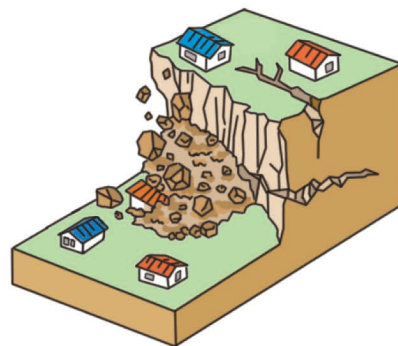
土砂災害

土砂災害の種類



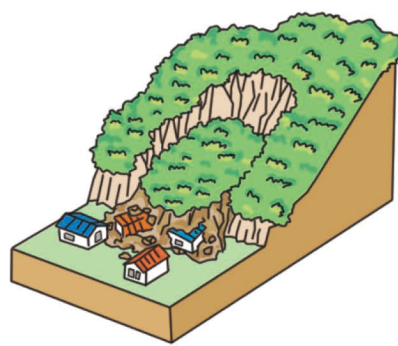
土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象のことをいいます。



がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

地中にしみ込んだ水分により斜面が不安定になり、雨や地震などの影響によって急激に崩れ落ちることをいいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。

前ぶれ現象に注意

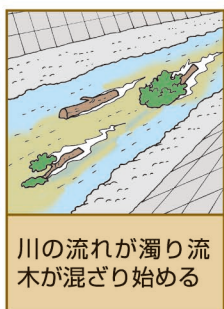
次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難すると共に、関係機関へ通報してください。



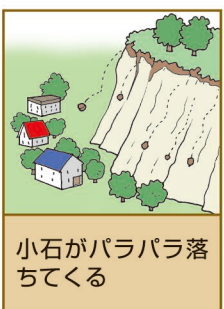
山鳴りがする



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



川の流が濁り流木が混ざり始める



小石がパラパラ落ちてくる



地面にひび割れができる



斜面から水がふき出す

安全に避難するために



土砂災害の危険がある場所、避難場所や避難経路を日ごろから確認しておきましょう。



土石流からの逃げ方

土石流は速度が速いため、流れを背にしていたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



がけ崩れからの逃げ方

がけ崩れは一瞬で起こるため、早期避難の判断が重要です。がけの高さの2倍以上の距離に逃げます。室内の場合は、がけから離れた部屋や2階以上に避難しましょう。

土砂災害警戒情報（レベル4土砂災害危険警報）について

大雨による土砂災害の危険性が高まったときに、避難の判断の参考となるよう、北海道と気象台が共同で発表する防災情報です。この情報の発表いかににかかわらず、危険を感じた場合は速やかに自主避難してください。

土砂災害発生のおそれがある危険箇所

住んでいる場所の危険箇所をチェック

こんながけは危険です！

- ☐ 割れ目が多い
- ☐ 張り出している
- ☐ 湧き水がある
- ☐ 雨水が集まりやすい
- ☐ 浮石が多い
- ☐ 勾配が30度以上ある



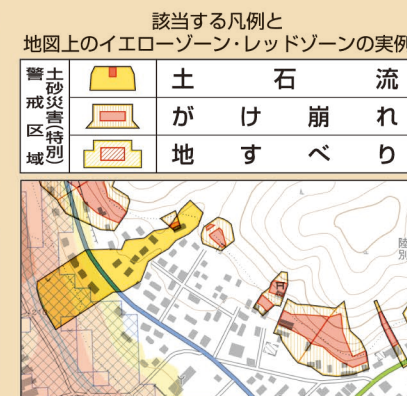
土砂災害発生のおそれがある区域は、北海道により指定されており、その危険度に応じて「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」に分かれています。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域をいいます。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

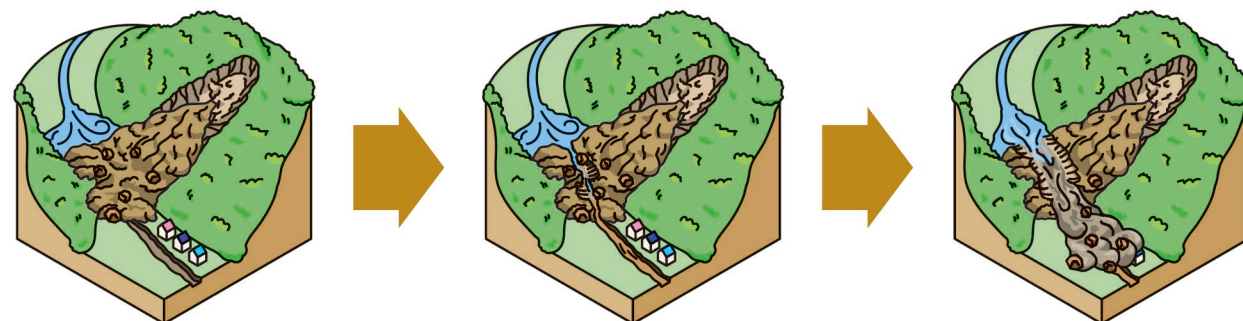
「土砂災害警戒区域」のうち、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域をいいます。



河道閉塞（天然ダム）

地震や地すべり、大雨、火山の噴火などが原因で、崩れたり流されたりした大量の土砂が、川の流れをせき止め、上流側に池のように水がたまった状態を河道閉塞（天然ダム）といいます。上流側では、家や道路が水につかることもあります。また、川をせき止めていた土砂が一気に崩れると（これを決壊といいます）、土砂まじりの水が大量に流れ下ったり、土石流が発生したりして、下流に被害が出ることもあります。

河道閉塞から土石流の発生まで



流れた土砂が川をせき止め、上流側に水がたまる。

せき止めた土砂の上を水があふれ、やがて土砂がかたまりになって崩れ始める（決壊）。

崩れた土砂が水とまじって、大きな土石流や洪水となる。